

Wish



(財)日本ユニセフ協会

兵庫県支部

〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605
FAX 078-451-9830

ユニセフ兵庫ニュース



命を守る一滴

予防接種を世界の子どもに!

はしかの予防接種
(アフガニスタン2002年)
© UNICEF

スタートから半年 ユニセフの輪を広げよう

* ご協力ください *

ユニセフ募金 ~ご家庭で学校で職場で~

いただきました募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部、そしてユニセフ現地事務所を通じて世界の子どもたちへ届けます。

郵便振替でお願いします

口座番号：00190-5-31000

加入者名：(財)日本ユニセフ協会

通信欄に「K1-280兵庫県支部」とご記入ください。

会員って

ユニセフ協力活動を行なう日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。

一般会員...個人ならどなたでも 1口5,000円

学生会員...18歳以上の学生 1口2,000円

団体会員...団体、法人、企業 1口100,000円

*申込み方法についてはお問い合わせください。

兵庫県支部 会員数 279人(8/31現在)

ボランティア募集中

世界のこと、子どもたちのこと、もっと知りたい。そして活動したいという支援の輪が広がっています。あなたも仲間に入りませんか。

活動の詳細については、お問い合わせください。

「2002年秋・冬」号のユニセフ・カードとギフトのカタログがでています。これからの季節、クリスマスカードや年賀状など、広くご利用ください。



クリスマスカード



年賀状



2003カレンダー

あとがき

出会ったことも話したこともない多くの世界の子どもたち。でも思いを寄せているその瞬間は、きっと同じ時を共有している...

学習会での生徒の顔からその思いが伝わってきます。感謝。(福)

Wish Vol.2号(2002年秋) ユニセフ兵庫ニュース

2002年(平成14年)10月25日発行(季刊)
発行：(財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830
(平日の10時~16時)



本紙は再生紙を使用しています。

2001年12月6日 兵庫県支部設立発起人会



2002年1月29日 支部設立イベント
葉祥明氏講演会
「ねがいをのぼる太陽に」



3月6日 支部設立総会 活動開始

4月14日 ユニセフカップシティマラソン
芦屋(4/14)、西宮(5/26)

5月19日 ユニセフ募金贈呈式
(せいぶんまつり)



6月7日 アフガニスタン教育支援募金活動
ロジャー・ムーア氏激励に



熱心に聞き入る参加者

8月6・7日 日本ユニセフ協会主催
リーダー学習会にボランティアが参加

8月27日 早水研氏報告会
「アフガニстанは今」

8月25日~31日 写真展「危機の中の子どもたち」



神戸市立高取台中での学習会(10/8)

9月7日 生活文化センターロビーにて
カード・グッズ販売を開始
(毎月7日)



ユニセフの年賀状もあるのね!

日本ユニセフ協会事務局長 早水研さん報告会

「アフガニстанは今」開催



2002年8月27日(火)、コープこうべ生活文化センターにて、日本ユニセフ協会早水研事務局長による報告会を開催。夏休みでもあり中・高校生などを含む約100名の参加がありました。報告会の後、ボランティアによるクイズコーナーもあり、みんなでいっしょに楽しく有意義な時間を過ごしました。

アフガニстанの子どもたちと。男の子が持っているのが通学バック(ビニール製)。中央が早水事務局長。



写真、写真説明/『ユニセフ・ニュースVol.195号』(日本ユニセフ協会発行)より。



アフガニстанの人々は23年もの長い間紛争に苦しんできました。でも子どもたちは明るく逞しい。今、子どもたちはユニセフの支援で学校に通えるようになりました。子どもたちが「カバン」をもって学校に通うその光景は、「平和」そのもの。しかし一方では、標高1800mの牧草地帯と山脈地帯の山間で暮らすカブールの人たち、干し葡萄の産地であるその葡萄畑にも地雷が埋まっており、タリバンは葡萄畑や樹木などをすべてを破壊してしまうとのこと。そんな中で、医療品やテントなどのユニセフの支援物資が現地スタッフの協力により、標高4000mにも及ぶ険しい山間を人とロバによって運搬されている様子はとても印象的でした。そして何より子どもたちが堂々と学校に通えるようになった笑顔の思うととても嬉しくなりました。

○報告会の参加者から寄せられたメッセージ

自分より小さい子が両親を失い一人で暮らしている…。つらいと思う。私は毎日普通に学校に行っているけど、行きたくても行けない子がいると思うと、ちゃんと勉強しようと思った。今も戦争の跡が残っているけど、早くなくて新しい自分たちの国を作ってほしい。すべての国が平和になることを願いたい。少しずつでも募金をして協力したい。今日はここに来て良かった。



自分が今まで何も知らずに生きてきたのが恥ずかしくなった。自分ができるとはしていきたい。ユニセフの活動はすごい。

特に印象深かったのが「子どもたちが学習袋をさげて学校へ通う姿が、大人たちの復興への意欲をかき立てる」というお話でした。この視点にはまさに目からウロコ。ただ、正義という名の下で、先進国の価値観の押し付けが行なわれないか、多少の不安を感じた。

アフガニстанの人々が明るく、教育に前向きなのがなにより嬉しかった。

クイズコーナーを担当して

「ユニセフクイズ」のコーナーは、ゲームを楽しみながらユニセフについて知っていただければ、という目的で企画。難しい内容は避け、ユニセフ本部のある国やアフガニстанの場所、世界の子ども的人口等の問題をボランティアスタッフと一緒に考えてみました。

意外にも正解者が多く、勝ち残った方への賞品の数が限られていたので、あわてる場面もありました。また、会場の入り口に現地の子どもたちが実際に運んでいる水がめを置き、「重さ当てクイズ」も行ないました。集計の結果、ピタリ賞が出た時にはスタッフ一同びっくりしました。表彰式で優勝した女性から「アフガニстанを身近に感じ、これが



らユニセフの活動をより深く考えていきたい」というコメントをいただいた時、この企画をして良かったと胸がいっぱいになりました。

高い舞台の上で、なれない司会役の私をスタッフや参加者のみなさんに温かくフォローしていただき、ボランティアとしての充実感を味わった一日でした。

運営を支えたボランティアさんの声

子どもたちを支え続ける為に「いらしゃいませ」ではなく、「ご協力お願いします」ということを、私自身意識していかなければならないと、強く思います。たとえば、「マリアアから身を守るために、殺虫剤処理された蚊帳を一家族分を提供する為には、ユニセフカード約5枚の協力が必要です」と具体的にお伝えすることが大切なのだ。そして、かつて日本も戦後支援され、今、支援できることに感謝しています。(音楽講師)

「モルドバってどこ?」「カーボベルデは?」アフガニстан報告会に備えて、5歳未満の乳幼児死亡率の高い国が一目瞭然とわかるようにと、世界地図の色分けをしました。ユニセフボランティアの私たちでさえ、名前や場所のわからない国があり、やはりサハラ砂漠以南に集中していました。これらの国々にこそ、多くの関心やユニセフの支援が向けられるべきだと改めて実感しました。(高校教師)



初めてボランティア参加し雰囲気になじめるかどうか心配だったが大丈夫だった。「いかに自分たちが恵まれているか」友達にも伝えたい。(高校生)

当日の係りは会場係でしたが、2回の準備会と当日の全てに参加することができて良かったと思います。会場で



展示するスクール・イン・ア・バッグや経口補水塩の準備をする中で、その意味や内容を初めて知り理解を深めることができました。(会社員)



今回初めてボランティア達で企画、構成、発表までやり遂げ無事終了しほっとしています。今まで何度となく見てきた「写真展」の展示一つをとっても初めての私たちは右往左往の連続。特に今年

年はあちらこちらでも「アフガン」を扱った写真展や報告会が開催されています。テロや戦争により、故郷を追われた人々がようやく国に戻り、子ども達が学校に行き勉強できるようにユニセフの支援が行き届きつつあります。大人と同じ厳しい風を受けて育つ多くの子どもたちの明るい笑顔が、平和慣れた私達をじっと見つめています。多くの方々に見ただき賛同したうえでの募金活動が、子どもたちが明るい未来に向かって幸福に暮らせるように、少しでもお役に立てる様、活動していきたいと思いました。(主婦)

神戸市北区7高校合同募金活動

【7月19日】

ユニセフ募金に参加して

神戸市立兵庫商業高等学校
生徒会長 岸野 心

今年も7月19日、終業式の午後、神戸市北区の高等学校7校(鈴蘭台高校・鈴蘭台西高校・神戸弘陵学園高校・神戸養護学校・神戸甲北高校・神戸北高等学校・兵庫商業高校)の生徒会が中心となり、神戸電鉄の6つの駅(鈴蘭台駅・西鈴蘭台駅・北鈴蘭台駅・唐櫃駅・山の街駅・岡場駅)に分散して力を合わせて募金活動を行いました。

今まで経験があり大きな声でしっかり呼びかけができる人、初めて募金箱を持ってなかなか声がでなかった人、いろんな思いを胸に、暑い日差しの中がんばりました。

活動中、おばあさんからジュースやバナナの差入れを頂いたり、お母さんに連れられた小さなお子さんが握りしめた10円玉が輝いて見えたり、いっぱい元気を頂きました。

反省することも多かったです。人通りの少ない場所ですと立っているだけだったり、ユニセフの活動について質



問されても十分即答できないこともありました。もっと活動方法や場所などを見なおしたり、ユニセフについて学習を深めて、この活動をもっと意義のあるものにしていきたいと思います。

集計してみると、6つの駅の募金総額は162,929円にもなりました。温かい善意がこもったお金です。この皆さんから頂いた気持ちを大切に、また冬の募金活動につなげて行きたいと思えます。

洋上セミナー参加の学生から
外貨募金が寄せられました

【9月27日】



「大学洋上セミナーひょうご2002」に参加した県内の大学生から9月27日、船上で呼びかけた募金が兵庫県支部に届きました。豪州ドルなど13カ国の外貨募金(日本円で約9万8千円)が寄せられました。ありがとうございました。

夙川グリーンタウンで
アフガニスタン写真展を開催

【10月3日~8日】



10月3日~8日、西宮夙川グリーンタウン商店街振興組合の皆さんのご好意で、フリースペースを使いアフガニスタン写真展を開催しました。期間中6日(日)にはカード・グッズの販売も行いました。

作品展での売上金を全額寄付

【10月18日】



吉永木彫教室の皆さんが腕をふるった作品を木彫展で即売し、その売上金を全額、ユニセフに寄付してくださいました。「何かお役に立てれば」という小さな声が大きな思いへとつながりました。

ボランティア報告・連絡会に参加して

9月17日(火)午後からの連絡会に先立ち、8月に行なわれたユニセフリーダー研修(日本ユニセフ協会、日本生協連主催)の参加者から、ワークショップの紹介、東ティモール、コンゴ事務所の職員からの現地の様子や他の県支部組織作りなどについて、多岐にわたる報告がありました。

ユニセフの活動をわかりやすく伝えるための寸劇『キ

ム家の一大事』は、視聴者参加型のワークショップで大変参考になりました。また、スライドもまじえた現地の報告では、生のニュースに触れることができました。中でも「教育とは文化の継承である」ことを再認識させてくれるアルバニア系の人々の笑顔や、ユニセフの基本「対象があつてプロジェクトがあるのであり、自立のための支援であることが大切」という現地スタッフの言葉が心に残りました。(K)

お気軽にお申し込みください

学習会を開きませんか

「3秒に1人の子どもが5歳の誕生日を待たずに亡くなっている」...
そんな世界の現状についていっしょに考えてみませんか。

これまでに開催した学習会

訪問日	訪問先	対象	人数
5月2日	加古川市立両荘中学校	中学1年~3年生	295
5月26日	ガールスカウト兵庫県第12団	小学3年~6年生と指導者	16
6月11日	小野市立小野東小学校	小学6年生	5
7月12日	神戸市立兵庫商業高校(他6校)	生徒役員他	20
7月17日	神戸市立好徳小学校	小学4年~6年生	60
8月20日	生活協同組合都市生活	親子	36
9月10日	兵庫県阪神シニアカレッジ	マイスターコース受講生	46
9月13日	コープこうべ第4地区	平和委員会メンバー	15
10月8日	神戸市立高取台中学校	中学3年生	160
10月9日	三田市立高平小学校	小学5年生	60



神戸市立高取台中学校での「学習会」の様子

視聴覚教材の貸し出しをしています

ビデオ(『ユニセフと地球のともだち』『世界子供白書2001』『子どもと武力紛争』ほか)やパネルの無料貸し出し(送料・利用者負担)を行っています。

お知らせ

「HIV/エイズの危機と子どもたち」写真展

2002年 2003年
【開催日時】12月16日(月)~1月10日(金)
午前9時~午後8時(平日) 午前9時~午後5時(土曜)
休館日/日曜、年末年始(12/28~1/3)

【開催会場】国際健康開発センター2F
ひょうご国際プラザ交流ギャラリー
(JR灘駅、阪神岩屋駅から徒歩8分)



©後藤 勝

ユニセフ街頭募金活動

「ハンド・イン・ハンド」

【実施日時】12月23日(祝・月)11時~2時
神戸市中央区(JR三宮駅周辺)他で行ないます。当日いっしょに募金活動をしていただける方、ご連絡ください。お待ちしております。

ボランティアさん募集!

ユニセフ
よもやま

学校募金がユニセフ募金のはじまり
財団法人となった昭和31年から、全国の小・中学校の子どもたちを対象に通称10円募金という形で募金が行なわれるようになって今にいたっています。